

図書館だより

2023年
1月号

新着図書情報

☆歴史が好きな人に
『一冊でわかる中国史』岡本隆司
(河出書房新社)

『二冊でわかるタイ史』
柿崎一郎(河出書房新社)
『二冊でわかるスペイン史』
永田智成(河出書房新社)
『日本の歴史 多様化する社会
角川まんが学習シリーズ』
(KADOKAWA)

今年もよろしく!



★リクエスト
『小説テイガ・
ダイナ&ウルト
ランガイア』
円谷プロダクション
(講談社)

ウサギ年に
この本を!

『春のウサギ』

ケヴィン・ヘンクス(小学館)

十二才のアミーリアは母親を早く亡くし、大学教授の父親とくらして、まわりから「かわいそうな

アミーリア」とよばれています。アミーリアが好きなのは陶芸教室でウサギを作ることです。ある日、陶芸教室でケイシーという少年と出会います。ケイシーは両親が離婚寸前で悩んでいました。二人は仲良くなりますが意外な出来事がおこります。

☆社会の中で生きていくことを
考えたい人に
『トルコから世界を見る』
内藤正典(筑摩書房)

『同調圧力のトリセツ』

鴻上尚史(小学館新書)

『認知症のわたしから、10代の
あなたへ』さとうみき(岩波書店)

『哲さんの声が聞こえる』

加藤登紀子(合同出版)

『食品ロスはなぜ減らないの?』

小林富雄(岩波書店)

『まっすぐだけが生き方じゃない』

リズ・マーヴィン(文響社)

★自然に興味がある人に

『サンゴは語る』

大久保奈弥(岩波書店)

『ウオンバットのうんちはなぜ、
四角いのか』

高野光太郎(晶文社)

『寝ても覚めてもアザラシ救助
隊』岡崎雅子(実業之日本社)

『身のまわりの水のはなし』

斎藤恭一(朝倉書店)

☆ミステリが好きな人に

『掟上今日子の家計簿』

西尾維新(講談社文庫)

『écriture 新人作家・
杉浦季奈の推論の レッド・ヘ
リング』松岡圭祐(角川文庫)

『葉と嘘の季節』

米澤穂信(集英社)

『ラビットホッピング!』

マリーリン・エリクソン(理論社)

スウェーデンの物語です。

主人公の少年アルヴィンは、妹
のリープが病気で、両親が妹にか
かりきりなため、さびしい思いを
しています。リープが入院したた
め、アルヴィンは祖父の家にとま
ることになります。

『ラビットホッピング!』
マリーリン・エリクソン(理論社)
スウェーデンの物語です。
主人公の少年アルヴィンは、妹
のリープが病気で、両親が妹にか
かりきりなため、さびしい思いを
しています。リープが入院したた
め、アルヴィンは祖父の家にとま
ることになります。

ウサギ年にこの本を!

たまたまアルヴィンは、
ラビットホッピング(人と
ウサギがチームになって、
障害物をとびこえてゆく)
という競技があると知りま
した。アルヴィンはウサギ
のヴィルデとチームをくみ
ラビットホッピングの大会
をめざします。



『まっすぐだけが生き方じゃない』
リズ・マーヴィン(文響社)

サブタイトルは「木に学ぶ60
の知恵」。木々はすばらしい力
にあふれて、人間にさまざまな
なことを教えてくれます。

『助られたり、助けたり』

して育つポプラ。「与えるこ

とで、受け取る幸せ」を知る

オリープ。「踏み出すことを

おそれない」プラタナス。

あなたはどの木が好きですか?

(エクスナレッジ)



←アーサー王伝説の都
アーサー王は「キヤメロット」という美しい都に住み、「円卓の騎士」とよばれる勇ましい騎士たちと共に天下をおさめたと伝えられています。左の絵は、現代のイラストレーターが描いたキヤメロットの絵です。



図書館のお薦め本
※映像化された本

『徳川家康 時々を生き抜いた男』 藤井謙治 (山川出版社)

今年のNHK大河ドラマは『どうする家康』です。家康について知りたい人にお薦めです。

『ボタニカ』

朝井まかて (祥伝社)

今年の春、朝ドラの主人公は「日本植物学の父」とよばれる牧野富太郎です。『ボタニカ』は、牧野富太郎の生涯を描いた小説です。今なら「植物オタク」とよばれそうな愛すべき、でもかなり人騒がせな人物の一代記です。

『旅屋おかえり』 原田マハ

原田マハ (集英社文庫)

『丘の上の賢人 旅屋おかえり』

原田マハ (集英社文庫)

今年一月三〇日に放映が開始されるテレビドラマの原作です。元はタレントだった丘えりかは、あるテレビ番組で大失敗をして、テレビに出られなくなり、仕事を変えます。新しい仕事は「旅の代理人」。誰かのかわりに旅をする仕事です。さて、どんな旅がまっているのでしょうか？

図書館のお薦め本 ※映像化された本

『サー・ガウエインと緑の騎士』 トールキン (原書房)

『ガウエイン卿の物語』 ニール・フィリップ (みづき書林)

緑の騎士の物語はイギリスの有名なアーサー王伝説です。昨年、映画『グリーン・ナイト』が公開されました。

『かがみの孤城 (上・下)』 辻村深月 (ポプラ文庫)

昨年公開されたアニメーション映画の原作です。少女ころは、ある日鏡をとおりにめけて不思議な城に連れてゆかれます。

こころをはじめ七人の少女少女が集められ、オオカミのお面をつけた少女に「願いがかなう部屋のカギをさがせ」と言われます。

『母性』 湊かなえ (新潮文庫)

昨年映画化されました。「母と娘」をめぐるミステリです。



←アーサー王伝説の一場面